

ムーブメント案

D班

森本・大内・柴・前田・福永

私たちの考える現状

1. 若者の当事者意識が低い
2. 自分1人では何も変わらないと
このような理由で環境問題に
思っている人が多い
興味を持たない人が多いと考えた
3. 問題を「自分には大きすぎるもの」
と感じてしまう

私たちの想い

このような今の社会や若者を取り巻く現状、
考えや常識を打ち破りたい。また、世界では僕たち高校生と同年代の人たちが環境問題だけでなく、様々な分野で活躍している。ならば、**私たち自身が中心となり行動を起こさなければならない。**よって次のことを提案する

私たちの提案

多くの人に自主的に環境問題に取り組んでもらうために...

1. 多くの人に「**エコ**」のことを知ってもらい考えるためのきっかけを作る。
2. 環境活動は「**かっこいいこと**」だという意識を作る。

この二つのことが大切ではないかという意見が出た。

具体的には...

自治体と協力して

「いつの間にか環境活動」

を普及させ、それらをSNSによって
世間に発信すること

いつの間にか環境活動とは？

夜間に電気を消して季節ごとに異なるイベント(中秋の名月や花火を眺める会など)を催す。それらのイベントにより、**多くの人々が集まること**でイベント中は家が無人となるため、普段よりも電気の使用量が大幅に減少する。

なぜ夜の電力を？

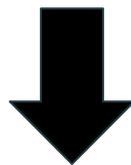
右図を見てみると、8時時点の照明の電力消費量が180と一番多く、その分を減らすことで、環境問題に少しでも貢献できると考えた。

2人世帯の一日の電力消費量推移（昼間在宅の場合）

(W)



だが、私たちの日常と強く結びついている電力を、意図的に減らすのは困難だと考える。



ならば、「いつの間にか」電力を減らすことができ、それが話題となれば、それがムーブメントとなるのではないか？

と、話していたのだが...

この活動は、小規模で進めていってもあまり大きなムーブメントにならず、夜間の消費電力量の減少に貢献できないのではないか？

ということに気付いた。

SNSによる拡散例

ハッシュタグの作成
(例えば#8時だよ！全員消灯！)



拡散



多くの人に興味をもってもらおう。



この活動に参加したいと思ってもらおう。

問題点

1 犯罪が多発する可能性

2 電気を消すので、けがや事故が起きるリスクが。(事前の注意 喚起が必要である)

このように電気を消すことによって新たなリスクが発生してしまう

問題を解決するために....

例えば、各家庭に自治体がソーラーランタンを配布して、花火や月見の日の夜間は昼間に貯めた電気で過ごしてもらうのはどうだろうか？

- ・家の中だけでなく、家の前や道路の端に置いてもらえれば、夜空を邪魔しない程度に、**安全面に考慮した明るさ**を手に入れられる
- ・この活動を自治体が後押しすることで「私たちは環境問題に対してこんな風に取り組んでいますよ」という**社会的な評価を得ることができる**。また、他の自治体にノウハウを教えることでさらに多くの人に広めることができる

世界では....

公益財団法人世界自然保護基金ジャパン

・世界各地をつなぐ消灯リレー

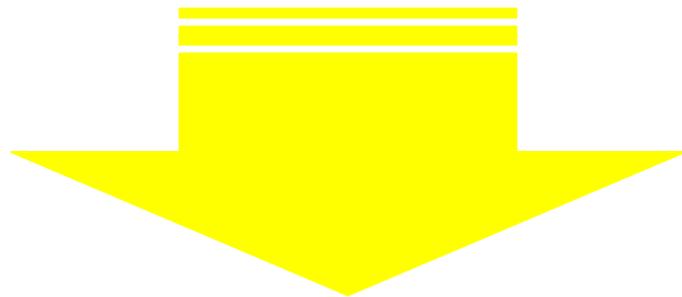
(<https://www.wwf.or.jp/press/78.html>)

「EARTH HOUR(アースアワー)」とは
世界中の人々が、同日同時間に電気を消すアクションを通じて
「地球の環境を守りたい」という**想いをわかちあう**世界各地をつな
ぐ消灯リレー

日本では2010年からWWFジャパンが主体となりEARTH HOURをよ
り多くの人たちが環境保全活動に参加して頂く機会の創出と位置
づけ毎年実施をしています。

「エコ」を知ってもらい
活動のきっかけを作る

活動を「かっこいいこと」
だという意識を作る



いつの間にか環境活動

ご清聴ありがとうございました